

人事／採用ご担当者様向け

【2028卒】理系就職活動 トレンド解説資料

理系学生の活動量・接触企業数は年々減少。
インターンシップでの接点がさらに重要に。

理系ナビ

株式会社ドリームキャリア
キャリアコンサルティング事業部

<https://rikeinavi.com/>

目次

- 01 企業の理系新卒採用意欲**

- 02 理系学生のインターンシップ情報収集の開始時期**

- 03 インターンシップは優秀な人材との早期接触に不可欠**

- 04 理系学生の就活・学業の現状（学生の声）**

- 05 理系新卒採用企業の28卒採用方針（企業担当者の声）**

- 06 28卒理系採用活動のポイント**

- 07 採用手法別 比較表**

- 08 理系ナビの新卒採用支援**

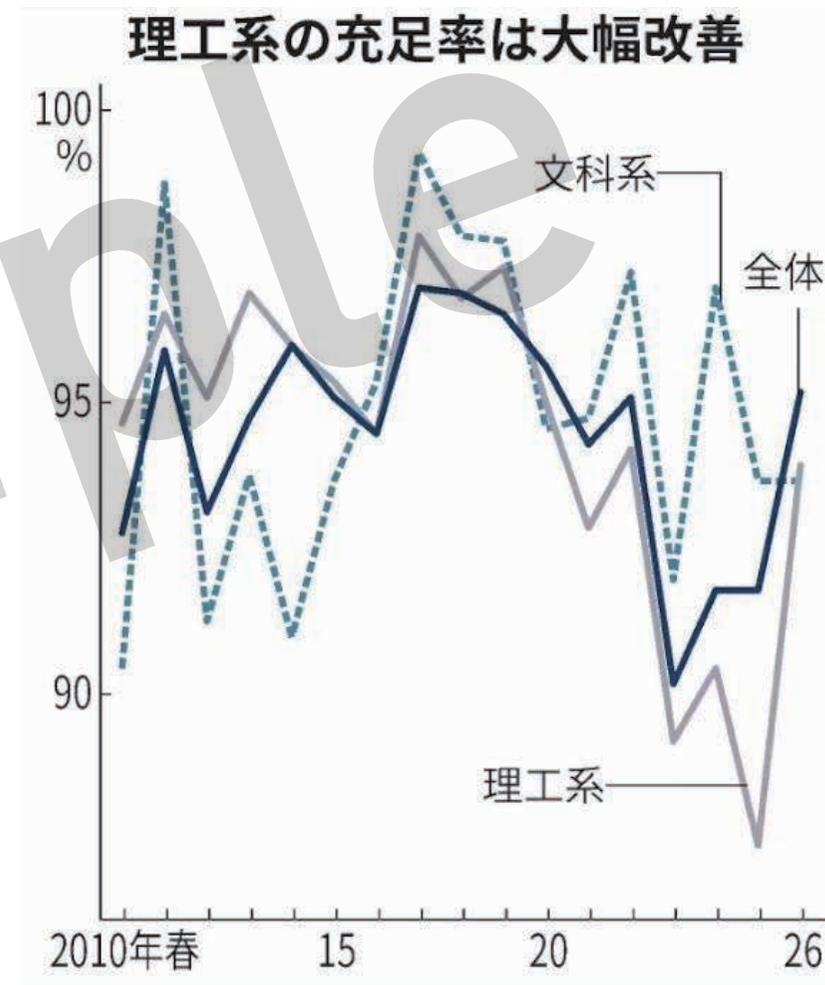
01 企業の理系新卒採用意欲

激化する理工系学生の争奪戦。採用手法の工夫で明暗が分かれるケースも。

近年の新卒採用市場は、人手不足を背景に学生優位の売り手市場が続いていますが、**25卒の採用計画達成度を示す「充足率」は95.2%となり、過去2番目に低かった24卒から回復傾向にあります。**

この背景には、ジョブ型・配属確約型コースの導入や、現場社員が参画するインターンシップの実施によるミスマッチ低減など、企業側が採用戦略を強化している事実が一因に挙げられます。

翻って、こうした取り組みが遅れている企業では採用に苦戦するケースが少なくありません。理工系人材については、従来からニーズの強かった機械・電気系に加え、あらゆる業界で情報系人材の争奪戦が激化しています。今後も、高い専門性を持つ理系学生に最適化した採用手法を検討し、戦略的な採用計画を立案することが不可欠といえるでしょう。



出展：日本経済新聞2025年10月18日

02 理系学生のインターンシップ情報収集の開始時期

企業の採用情報公開および理系就活生の情報収集も早期化が進む

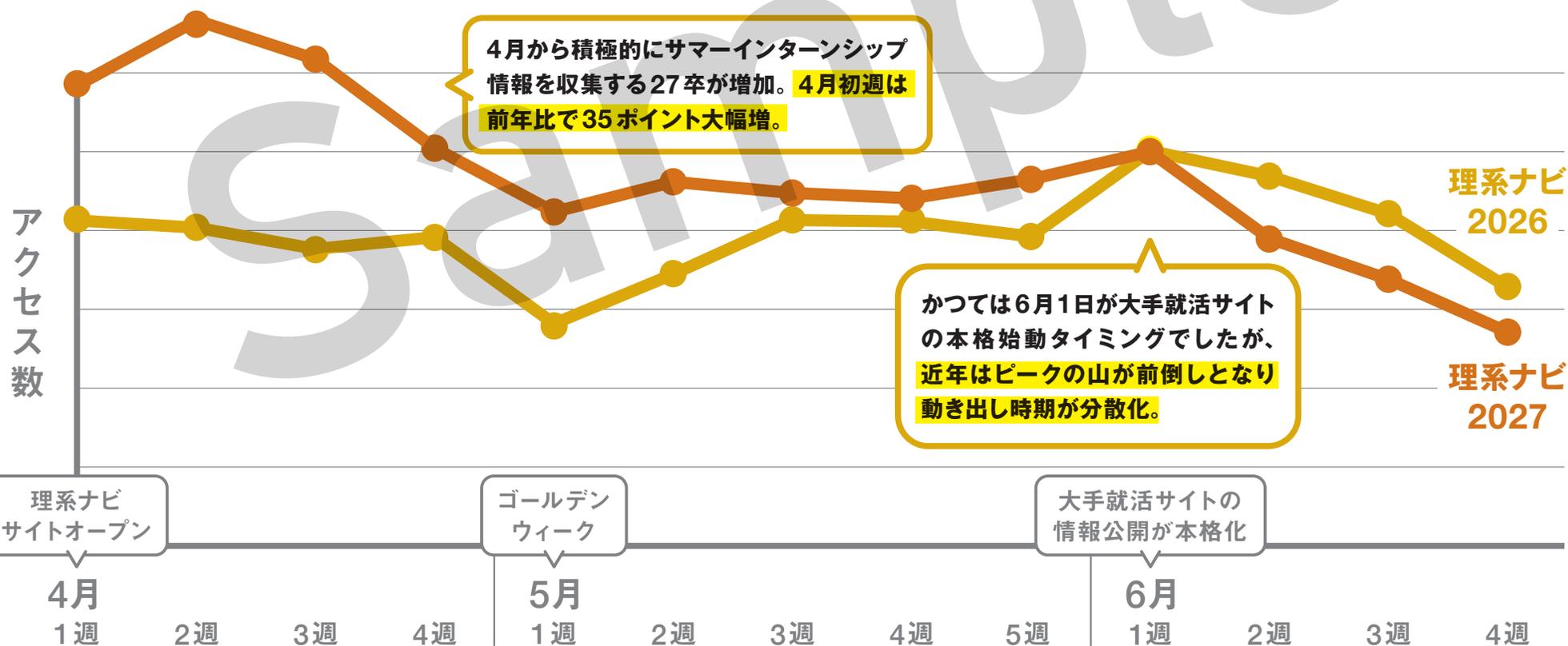
2027卒対象のインターンシップ／就職情報サイト「理系ナビ」では、(学部3年や修士1年の)4月から情報収集に動く学生の比率が大幅に上昇しました。

一方、企業側においてもサマーインターンシップや本採用情報を早期公開する企業が多く見られ、4月以前からインターンシップの情報を公開して早々に応募受付を締め切ってしまう企業・プログラムもありました。28卒学生の就職活動スケジュールについても企業及び学生双方で、早期化のトレンドは継続しそうです。

【理系ナビ アクセス数の比較】 ※理系ナビアクセス比較 (6月1週目を100として 26卒と27卒推移比較/4月～6月)

4月から積極的にサマーインターンシップ情報を収集する27卒が増加。4月初週は前年比で35ポイント大幅増。

かつては6月1日が大手就活サイトの本格始動タイミングでしたが、近年はピークの山が前倒しとなり動き出し時期が分散化。



本調査資料をご希望のご担当者様は下記問合せフォームより、
「**28卒トレンド調査資料希望**」とご記入の上、資料をご請求ください。

資料請求はこちら